

チクゼンハゼ[写真 10]やクボハゼ[写真 11]と比較すると、模様がはっきりせず、体色が薄いことがわかります。とはいえ何だか曖昧な個体もいて、この時点でエドハゼっぽい個体が全てエドハゼだと同定出来ず、他に怪しいものを含めて何個体か持ち帰って標本にすることにしました。まあ、この時点でキセルハゼである可能性は、もはや無さそうでしたが・・・。



▲写真 1 0 : チクゼンハゼ.



▲写真 1 1 : クボハゼ

また、ツマグロスジハゼ[写真 12]も個人的に意外な出会いでした。この干潟は河口から 1km 程離れており、比較的塩濃度が低いです。図鑑にはスジハゼ類の中でも比較的塩濃度の低い場所にも出現する



▲写真 1 2 : ツマグロスジハゼ